

★脳情報から何が分かるのか！その妥当性、再現性の評価は？

セミナーNo.210503

無意識情報、質感、感性・快不快、疲労度、難易度…最新脳科学に迫る！



脳情報の計測,データの読み方と 感性評価・製品開発への応用

●日 時: 2022年10月13日(木) 10:00~17:15

●聴講料: 1名につき 66,000円(消費税込、資料付)

●会 場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。

[1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき60,500円(税込)]

[大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

1. ウェアラブル脳波計による 無意識情報の計測

[10:00~11:30]

(国研)情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター
脳機能解析研究室 室長 成瀬 康氏

1. 非侵襲脳機能計測法を用いた神経科学の基礎
2. 脳波って何？
3. 脳波のこれまでの応用研究
4. ウェアラブル脳波計の開発
5. ウェアラブル脳波計による無意識情報の計測
 - 5.1 脳波を利用した外国語学習法
 - 5.2 脳波による英語力評価法
 - 5.3 脳波を利用した ワークロードの定量化
6. 実環境での脳活動データを取得
 - 6.1 ゲーム中の脳波計測
 - 6.2 VR中の脳波計測

【講演趣旨】製品・サービスの利用といった日常生活の体験の背景にある神経情報表現やその操作が可能となってきたことで、人類は少しずつではあるがその謎に迫りつつある。それを支えるのが脳の情報処理を各種手法でセンシング・解析・介入する神経科学の研究の進展とニューロテクノロジーと呼ばれる一連の技術群である。本講演では情報処理臓器「脳」の情報表現を扱うという観点からその商品開発への応用可能性を概観する。

1. 消費者の「ココロ」を知るということ
2. なぜマーケティングは難しいのか～消費者側の問題
3. なぜマーケティングは難しいのか～企業側の問題
4. 脳・神経系の基礎から
私たちが日々モノを買う仕組みまでを考えてみる
5. ニューロテクノロジーの商品開発等事業への応用可能性

2. 脳情報処理モデルと感性計測 による質感・感性・快不快の実験と分析

[12:15~13:45]

東京大学 大学院総合文化研究科 教授 本吉 勇氏

1. 視覚情報処理の基礎
 - 1.1 視覚情報処理の概要
 - 1.2 視覚情報処理の基礎モデル
2. 質感と感性
 - 2.1 質感・感性情報処理の基礎
 - 2.2 画像が引き起こす自動的な快不快について
 - 2.3 視覚情報処理に基づく美術の解析
3. 質感・感性・快不快の実験と分析
 - 3.1 主観を客観的に測るための枠組み
 - 3.2 感性計測の実験手法
 - 3.3 画像処理と自然画像統計学
 - 3.4 実例集

4. 脳機能の計測技術と 疲労度、難易度、記憶度合いの評価

[15:45~17:15]

名古屋工業大学大学院 准教授 船瀬 新王氏

1. アンケートの限界
 - 1.1 アンケートによる内部状態の評価の問題点について
2. 生体信号によるヒトの内部状態の推定
 - 2.1 ヒトの内部状態の推定に用いられる生体信号について
 - 2.2 脈波を使用したヒトの内部状態推定技術について
 - 2.3 脳波を使用する優位性について
3. 脳波とはなにか
 - 3.1 脳波はどのような情報を持っているのか
 - 3.2 脳波を計測する機器について
 - 3.3 種類やサイズ、コスト
 - 3.4 特徴的な脳波について
 - 3.5 工学的な応用例について
 - 3.6 脳波インタフェースについて
4. ヒトの内部状態を推測する例(当方の研究例から)
 - 4.1 疲労度を脳波から推測する技術について
 - 4.2 ヒトが感じている難易度を評価する技術について
 - 4.3 ヒトの記憶度合いを測る技術について

3. ニューロテクノロジーによる 感性評価と商品開発への応用

[14:00~15:30]

(株)NTTデータ経営研究所 ニューロイノベーションユニット
アソシエイトパートナー 茨木 拓也氏

講師紹介割引申込書

「脳情報計測」セミナー

No.210503

10/13

- ・講師からの紹介として、聴講料を2割引させていただきます。
- ・2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。
- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-5080)にてお申込みください。
- ・当社(技術情報協会)への直接のお申込みに関し、割引を適用いたします。

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・FAX・e-mail]			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため		・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため	
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第、申込みは締切となります。